



ネスレインビテーションショナル

日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯

2016年1月19日

ネスレ日本株式会社

**日本プロゴルフマッチプレー選手権が13年振りに復活
男子プロゴルファーのグローバルチャレンジを支援し、日本のゴルフ界の発展を目指す
「ネスレインビテーションショナル 日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯」開催**

**日本男子ツアー史上最高 優勝賞金 1億円
2016年7月29日(金)～31日(日) 恵庭カントリー倶楽部**

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長兼CEO:高岡浩三、以下「ネスレ日本」)は、「ネスレインビテーションショナル 日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯」を、公益社団法人 日本プロゴルフ協会(以下PGA)主管のもと、2016年7月29日(金)～31日(日)の3日間に渡り、恵庭カントリー倶楽部(北海道恵庭市)にて開催いたします。

ネスレ日本は、グローバルな活躍を目指す日本の男子プロゴルファーを支援することを大会意義として、2014年、2015年と「ネスレ日本マッチプレー選手権 レクサス杯」を開催してきました。一方、PGAは1975年から2003年まで「日本プロゴルフマッチプレー選手権」を公式戦として開催してきました。今回、日本のゴルフ界のさらなる発展を目指すPGAが本大会の意義に賛同し、13年ぶりに「ネスレインビテーションショナル 日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯」として、まったく新しい形態で復活させ、新たに開催する運びとなりました。

片山晋呉プロが過去2大会に続き大会ホストプロを務め、優勝賞金は日本男子プロゴルフツアーにおいて史上最高額の1億円に引き上げます。優勝者が世界への扉を自ら切り開くことができる大会として更に支援を強化します。

また、試合の様子はテレビ放送に加えて、ネスレ日本公式サイト内のライブ中継によって、リアルタイムにマッチプレー独自の魅力をお楽しみいただけます。



写真:2015年大会 表彰式の様子

以上

**ネスレインビテーションナル 日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯
大会実施概要**

大会名称	ネスレインビテーションナル 日本プロゴルフマッチプレー選手権 レクサス杯
略称表記	ネスレマッチプレーレクサス杯
主催	ネスレ日本株式会社
主管	公益社団法人日本プロゴルフ協会
特別協賛	LEXUS
企画運営	株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ
開催コース	恵庭カントリー倶楽部 〒061-1422 北海道恵庭市盤尻53-2
開催日時	2016年7月26日(火)から31日(日) 7月26日(火) 公式練習日 7月27日(水) 公式練習日・前夜祭 7月28日(木) プロアマ大会 7月29日(金) 1回戦(16マッチ) 7月30日(土) 2回戦(8マッチ) / 3回戦(4マッチ) サタデープロアマ大会 7月31日(日) 準決勝(2マッチ) / 決勝戦 サンデープロアマ大会
競技方法	1回戦 18ホールマッチプレー 2回戦 18ホールマッチプレー 3回戦 18ホールマッチプレー 準決勝 18ホールマッチプレー 決勝 18ホールマッチプレー ※18ホールで勝敗が決着しない場合は、エクストラホールへ進む
競技規則	2016年日本ゴルフ協会競技規則、日本プロゴルフ協会競技の条件及びローカルルール、ならびに大会特別競技規則を適用する
出場人数	32名
出場資格	PGA会員かつ選考委員会に推薦された者
優勝賞金	1億円
放送	ネスレ日本公式サイトインターネットチャンネルで生中継 BS-TBSでは7月30日(土)・31日(日)に生中継
大会公式サイト	http://nestle.jp/entertain/golf_matchplay/

※その他の詳細情報は決定次第あらためて発表させていただきます

【参考資料】

歴代チャンピオン(優勝賞金)

2014年

松村道央プロ(4000万円+グローバルチャレンジサポート1000万円)

※ハッサンⅡ世トロフィー2015年大会出場/64位

2015年

武藤俊憲プロ(7000万円)

※ハッサンⅡ世トロフィー2016年大会出場予定(2016年5月5日～8日)

マッチプレー方式とは

二人または二組のチームがホールごとの勝ち負けで通常は18ホール(稀に36ホール)をプレーして勝敗をつける競技方法。例えば、9ホール終わった時点で4ホール勝ち、3ホール引き分け、2ホール負けだとするとその状態を2アップ(4 - 2 = 2)と言う。(負けている選手から見れば、2ダウン) 2ホール残して、3ダウンというように逆転することが不可能になった時点(3 and 2)で勝負が決着します。

ゴルフ発祥の頃は主流だったといわれるマッチプレー方式は、日本ツアーでは1975年から2003年まで「日本プロゴルフマッチプレー選手権」という公式戦が行われていました。今でも、「ライダーカップ」や「プレジデントスカップ」はマッチプレーで争われ、米国PGAツアーには「WGCアクセンチュアマッチプレー選手権」、欧州ツアーには「ボルボワールドマッチプレー選手権」といった大会が存在しており、心理作戦やコースマネジメントなど、1対1の対戦において要求される選手間の“駆け引き”など、毎年注目を集めています。

相手が厳しいライにあれば、自分はピンを狙わず手堅くグリーンセンターを狙ったり、逆に相手がすでにピンそばにつけていれば、リスクを承知で果敢にピンデッドを攻めるなど、常に優勝争いの緊張感に満ちています。対戦形式だからこそ、相手へのプレッシャーのかけ方などの心理戦の攻防が非常に面白いのがマッチプレーの魅力です。

大会ホストプロ:片山晋呉プロフィール(1973年1月31日生まれ/茨城県出身)

2歳半でゴルフに興味を持ち始め、中学時代にジュニア大会優勝。ゴルフの名門・水城高校に通いながらナショナルチームにも所属。日本大学へ進み、日本アマやマッチプレー、日本オープン・ベストアマなど33勝のタイトルを獲得。ゴルフ人生をかけた椎間板ヘルニアの大手術を乗り越え、'98年サンヨーランドサマーにてプロ初優勝。'00年には年間5勝を挙げて賞金王に輝き、04年、05年、06年、と賞金王を重ね、08年、遂に悲願の史上7人目の永久シード選手となり、08年度の賞金王にも輝いた。ツアー通算29勝。09年マスターズトーナメントにおいて日本人最高位4位の実績を持つなど、海外ツアーにおいても実力を発揮してきた。

